



3 学期が始まって 2 週間あまりですが、早くも 1 月は終盤にさしかかっています。遅くなりましたが、本年もよろしくお願いします。

愛とつながり

■かけ算人生でもっと豊かに

- ・引き算と割り算の生き方＝「損（そこな）い合い」（ $2 - 1 = 1$ $1 \div 2 = 0.5$ ）

引き算の生き方は、相手の力をマイナスにさせ、割り算は、生きるほどに周りに力を半減させます。

- ・足し算とかけ算の生き方＝「恵み合い」（ $1 + 1 = 2$ $2 \times 2 = 4$ ）

その秘訣は、他を生かし大きく育てます。他人を批評したり、妬（ねた）んだりはしません。そこに必要なのは「愛」なのです。

■人を愛する力とは

ナチス・ドイツのユダヤ人強制収容所から奇跡的に生還したヴィクトール・フランクルは、生還できた人の共通点は「生きる意味」を持っていたことだと述べています。小さいわが子のために、今ここで死ぬわけにはいかない。そんな「自分は誰かの役に立っている」「誰かに愛されている」という実感が、極限状態の中での生きる力になるということです。自分を忘れても支えたい、生かしたいと思える人がいる。そうしてくれる人がいる。そんな心のつながりは、人生にとっても大きな力を与えてくれるものでしょう。

もっとも、人は、愛もつながりも、心が苦しいときには盛んに求めるものですが、ひとたび満ち足りると、その大切さを忘れ、育てる努力を怠ってしまいがちなものです。

（ニューモラル 12 月号より抜粋）

そろえる

校内の 2 枚の写真です。子どもたちの靴箱は、靴のかかとがきちんと靴箱の端にそろっています。「靴を入れる」という行動は、1 日に何回も、そして毎日繰り返されます。靴のかかとをそろえて靴箱に入れるということは、靴を丁寧に扱っていることの裏返しであり、同時に心が整っていることでもあります。もう 1 枚は、授業参観日（1 月 17 日）の中庭駐輪場の自転車の様子です。白線の枠内にきちんと駐輪してあります。これも心が整っていることの表れの一つだと思います。

子どもたちにとって大人の代表は、保護者の皆様と教師です。大人が「整った」姿や行動を示すことは、言葉を必要としない、しかし、最も効果のある指導です。保護者の皆様のご協力に感謝します。

